蒲町中学校の皆様へ

2025 年新年度中学生

パーソナルワン蒲町東教室はこんな指導

～基本的な中学生授業の流れ～

ステップ１	ステップ２	ステップ３	ステップ４
１：３（先生：生徒） 予習授業 知識のインプット	１：３（先生：生徒） 演習授業 知識のアウトプット	１：３（先生：生徒） 確認テスト 定着を確認	１：（先生：生徒） 確認テスト復習 弱点をなくす

～基本的な中学生授業の流れの説明～

ステップ１　予習ですので、生徒の皆さんにとっては初見になります。新しい知識を理解します。
ステップ２　初見の知識を得たので、実際に塾の問題集をやってみます。間違えたものを修正します。
ステップ３　定期試験を意識し、確認テストでどのくらい授業内容を定着できたか確認します。
ステップ４　間違えた所を修正します。その日のうちに【できない】から【できる】にします。
授業の最後に宿題を課し、その日の授業内容をカルテに記しその日の授業は終了です。

～個別指導は子供の数だけ授業のスタイルがあります～

点数別でこのような根拠があります。

例①　5 教科 200 点台以下の生徒・苦手教科があって 60 点に満たない生徒

まずこの場合の生徒は**ステップ 1 のインプットができていない場合が多いです。学校の授業もわからず、提出する学校ワークもできずに答えを写して（わからないから当然です）提出するためだけの目的でワークをやり定期試験を受けている。その結果点数が伸びず塾に通ってもプリント・問題集を課されても解くことができず成績が伸びない。**つまり知識不足で問題やテストをやろうにも**わからないからできないわけです。**本人はやってもできないと思い**勉強が嫌**になります（本人は悪くありません）。このような生徒は問題をやるより**インプット（知識を覚え・理解する）に時間をかけます。時間はかかりますが**時間をかけた分だけ問題やテストが解けるようになります**（わかるが増えるから当然です）**

～個別指導は子供の数だけ授業のスタイルがあります～

例②　5 教科 350 点台以上の生徒・評定平均 4.0 以上の生徒

5 教科 350 点以上を取っている生徒はステップ 1 がある程度できていてインプットが少し足りない状況です。**少しですので足りない部分が理解定着できたらステップ 2・ステップ 3 の量を増やします。**この点数の生徒は演習に時間をかけます。**様々な問題集を解き、間違った所（本人の弱点）を見つけることが重要です。**そしてステップ 4 で弱点を克服します。例①の生徒と違い、時間をかけるところが演習とそこで見つかった弱点を克服することです。弱点は本人にとって勉強することが嫌な所です**（つまり伸びる所）**。それを克服せず（面倒で嫌だから）テストに臨み毎回同じような点数になっていませんか？そして苦手な分野の時、点数が下がっていませんか？**【嫌・弱点】は点数を伸ばすチャンスですよ。**

ご相談・無料体験・春期講習は 022－722－8154（火曜日から土曜日 14 時から 21 時で受付）